

安比地熱発電所設置計画に係る環境監視結果（2024 年度）

「安比地熱発電所（仮称）設置計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2024 年度の発電所運転開始後の環境監視の結果は、以下の通りです。

環境要素	監視項目	実施内容
水環境	地下還元する冷却排水の水質等	冷却排水は、温度および pH 等の水質に、特異的な挙動はなく、一定の変動範囲に収まっていることを確認しました。
	河川等の水温等	周辺河川等のうち小智恵ノ沢については、水温および流量に大きな変化は認められませんでした。また、裳部沢については、水温および流量に一定の変化が確認されましたが、これまでの観測の変動範囲内でした。
	温度、湧出量、泉質（温泉成分）	周辺温泉のうち草ノ湯については、温度・湧出量・泉質（温泉成分）に大きな変化は確認されませんでした。また、新草ノ湯については、温度・泉質（温泉成分）に大きな変化は確認されませんでした。湧出量については、2022 年夏季に発生した斜面崩壊および 2024 年春季の落石に伴い測定箇所を変更したことによる減少が確認されました。
生態系	ノスリの生息・繁殖状況	営巣期にあたる 4～7 月に、ノスリの行動を計 67 回確認しました。新たに確認した巣において繁殖活動を行ったものの、途中で繁殖活動は中止したとみられます。なお、設置した進入用道路周辺では狩り行動も確認しました。 なお、専門家の助言のもと、本調査を実施しております。
	オオジシギの生息・繁殖状況	繁殖期にあたる 5 月及び 6 月に、オオジシギを計 71 回確認しました。その確認状況から、オス 9 個体が生息していると考えております。2016 年度以降の確認個体数は 4～11 個体であり、これまでで 2 番目に多くの個体を確認しました。 なお、専門家の助言のもと、本調査を実施しております。
廃棄物等	廃棄物の処理状況	産業廃棄物は約 63 トン発生しました。発生した産業廃棄物のうち、約 18 トンを有効利用しました。主な有効利用の方法としては、アスファルト破片を再生アスファルト合材の材料として再利用しました。有効利用が困難であった残りの約 45 トンは、法令に基づき適切に処分しました。 ※数値は、小数点以下を四捨五入しています。

<お問合せ先>

安比地熱株式会社

〒028-7111 岩手県八幡平市大更第 20 地割 127 番地 1

TEL : 0195-68-7332 FAX : 0195-68-7336